

再開館記念企画展 開催要項（案）

1 名称：仙台市博物館再開館記念祭「こりゃめでたい」（仮）

2 趣旨：

この度、仙台市博物館は大規模改修に伴う長期休館を終え、令和6年4月に再開館します。改修により、館内で最大・最長の展示ケースを備えた企画展示室がリニューアルしました。リニューアル完了と再開館を祝い、吉祥主題の資料が魅せる色彩豊かなハレの空間を展示室内で構成し、作品を身近に感じる体験コーナーとともに楽しみいただきます。

人生を幸せに生きること、誰かの幸せを願うこと、時には笑いに託した招福への思い…そうした人々の思いは、様々な吉祥の模様や縁起物として表現されました。本展では、そうした資料を見るだけでなく、触れる・探すといった体験や遊びを通して賑やかに楽しんでいただきながら、資料の魅力を紹介していきます。

本展を通して、来館される皆さまの心が晴やかな気持ちで満たされますように。

3 主催：仙台市博物館

4 後援（予定）

河北新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、NHK仙台放送局、tbc 東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB 東日本放送、エフエム仙台、ラジオ3 FM76.2

5 会期（予定）

令和6年（2024）4月2日（火）～5月26日（日） 開催日数49日

※休館日：毎週月曜日（ただし4/29・5/6は開館）、5/7（火）

※会期中一部展示替えがあります。

6 会場：仙台市博物館企画展示室

7 観覧料：常設展料金（一般・大学生460円（360円）、高校生230円（180円）、小・中学生110円（90円）※（ ）内は30名以上の団体料金

8 展示構成

1. 人生のハレ舞台 2. 間を飾る 3. 福の鳥 4. 笑う門には福きたる
5. 福を身近に 6. 体験展示 福であそぼう

9 主な展示資料

仙台市指定文化財 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物、村梨地葵紋蒔絵調度、松竹梅牡丹紋蒔絵貝桶、縹縮緬地松竹梅鶴亀模様夜着、鳳凰青鸞図、松に山鳥図襖（東東洋筆）、孔雀・鳳凰図（伊達綱宗筆）、桐に鳳凰図（小池曲江筆）、鍾馗図（狩野典信筆）、染付唐子寿老人図徳利、布袋置物（三浦乾也作）ほか

10 体験展示

- ・幸せの重さは？ ―夜着の重さをリュックで体感
 - ・女乗物の中をのぞいてみよう ―パネルを組んだ中に入る体験
 - ・オリジナル福笑いに挑戦 ―有卦絵を題材とした福笑い
 - ・「ふ」を集めて有卦絵をつくろう ―スタンプまたは手描きで挑戦
 - ・つくってみよう、オリジナル幸せマーク ―自由に考えたマークを会場で投稿
 - ・あそびの広場（場外編） ―昔の遊びや博物館資料を題材とした遊びを体験
- ※企画展示室および企画展示室出口ロビーで展開

11 関連イベント

- 1) 学芸員によるリレートーク（申込制・無料）
テーマ「学芸員が考えるめでたいもの尽し」
4月6日（土）10:30～12:00、13:30～16:00 当館ホール（定員各200名）
講師：当館学芸員
企画展・常設展展示資料から歴史・美術の学芸員が「めでたい」をキーワードに資料の魅力を語ります。
- 2) おやこでミュージアム①（申込制・無料 ※常設展観覧券が必要）
4月27日（土）13:30～16:00 当館ギャラリー（定員20名）
テーマ「見つけてみよう！作ってみようめでたいマーク」
講師：当館職員
概要：吉祥の文様やかたちに注目した紋切り体験と展示室の探検を行い、昔の人々が福を願う思いに迫ります。
対象：親子10組（最大25名）
- 3) おやこでミュージアム②（申込制・無料 ※常設展観覧券が必要）
5月11日（土）13:30～16:00 当館ギャラリー（定員20名）
テーマ「たたんで、ひらいて―屏風をさわって、見てみよう！」
講師：当館学芸員
概要：白象黒牛図屏風（高精細複製）を鑑賞し、オリジナル屏風をつくるとともに、展示室で榴ヶ岡花見図屏風を見学します。
対象：親子10組（最大20名）障害のある方もご参加いただけます

12 印刷物（予定）

ポスターB2判1400枚、チラシA4判（3つ折り）55,000枚、
会場たんけんマップA4判（2つ折り）20,000枚

13 予算：令和5年度準備予算 4,980千円

14 主な展示資料写真：



竹菱梅葵紋蒔絵女乗物



村梨地葵紋蒔絵調度



縹縮緬地松竹梅鶴亀模様夜着



松竹梅牡丹紋蒔絵貝桶



鍾馗図(狩野典信筆)



松に山鳥図襖(東東洋筆)



鳳凰青鸞図



布袋置物(三浦乾也作)